



⑨アカチャンの行動

2012. 9執筆

「アカチャン」というのは生まれてからいつまでのことを言うのかわかりません……。お乳をもらっている間はアカチャンなのでは？とも思うけれどだいぶ大きくなってもお乳をもらうからその頃のキリンはあまりにも大きくてアカチャンとは思えない。と、いうことでここではだいたい生後1か月くらいまでのキリンについてお話することにします。

さてそのキリンのアカチャンですが、今まで見てきた3頭に共通する行動をお話します。

まず、夜間の行動です。キリンは野生では生後1週間くらいは母親が子供を置いて餌を食べに行く「置き去り型」と言われています。飼育下でもそのような行動が見られます。私が気になったのは子を置いていく場所はだれが決めているのだろうかということです。野生では木のそばに子を置いていくことが多いようです。当園では3頭とも定位置は必ず部屋の隅でした。その様子を見てみると場所を決めるのは母親ではないような気がします。「ここにいてね」と母親が誘導しているのでしょうか？自分が今いる範囲の中で一番落ち着くところを子が決めているような気がします。

当園の動物舎はさほど広くはありませんがほぼ正方形の部屋です。その中で巣(?)となるのが3頭ともに部屋の角でした。4つある角のうち、生まれてしばらくのアカチャンが選ぶ人気の隅っこは3頭ともに北東の角でした。この北東の角がなぜ人気なのかはわかりません。ここは父のキヨミズに一番近い場所、人から一番遠い場所、グラウンドに出る扉に一番近い場所という条件でしたがこれらがアカチャンの選択に関係あるかどうかはわかりません。次のアカチャンは新しい施設での誕生となりますのでどの隅っこを拠点とするのか楽しみです。(追記：2013年に新しい施設で生まれたウリュウ、なんと北東の角でした！！しかし、キヨミズに近い場所ではありましたが人から一番近い場所でしたし、グラウンドに出る扉に一番近い場所ではありませんでした。)

その自分の決めた巣(?)で座ることが多いのですが、夜間はとてもおもしろい行動が見られました。まだ明るい間は巣以外で座ることもありますし、動物舎の中を動き回ります。しかし、薄暗くなってくると巣に戻って座り始めます。辺りが真っ暗になると立ち上がった後も巣からは離れません。授乳は母親がその場所に来てくれます。母が遠く

で座っていてもそこまで近づいていくこともほとんどありません。そして、明るくなってくると徐々に行動範囲を広げていくのです。成長するに従って夜間も巣から離れてうろうろするようになります。アカチャンの頃、夜間に巣をちょっと離れてうろうろすることを私は夜遊びと呼んでいます。少しずつ暗闇の中を夜遊びしながら成長していくのです。

巣の位置はずっと同じではありません。数日間で違う隅っこに移動します。これは野生でもそうなんでしょうか？気になるところです。

アカチャンといえば授乳のシーンがとてもほほえましいですが、ここでちょっとアカチャンの時の授乳の話をしていきます。まず、生まれてからアカチャンががんばることは「立ち上がる」と「おっぱいを探し当てる」ことです。この2つの行動には母親のサポートなくしてはできません。立ち上がるのには母親がひたすら子を舐めて促します。そして、授乳は一生懸命さまよっている子を自分の乳房まで誘導します。その誘導の仕方は首や鼻先を使います。母は子の口が自分の乳房に行くように子の首や顔を自分の首や鼻先をからめ乳房の近くまでもっていくのです。初めて乳が飲めたからと言って次からはすぐ飲めるわけではなく、しばらくはその行動が何度も何度も見られます。

アカチャンはおなかがすいたら自分で乳を飲みに行くわけではないようです。おなかがすくのがすくまいが、初めのころは母親が「飲みなさい」といわんばかりにアカチャンを促すのです。子によってはとてもよく飲む子もいればそうでない子もいて、飲むのが少ない子には何度も促して飲ませようとする姿が見られます。その姿を見て、初めは「アカチャンがあまり乳を飲まないから母親は一生懸命に子に飲ませようとしている…」とちょっと感動するような見方をしていたのですが、授乳するのは母親が主導になっていることや、子が成長するにしたがって与える回数と時間が減っていくことから、「母親はただ単に、乳が張るから飲ませに行くのではないかと思うようになりました。

そんなことから、あまり飲まなかった2番目の子オトワの時はミライは本当に頻繁に授乳を促すシーンが見られました。しかし、3頭とも飲むのがうまくなり安定して授乳が行われるようになるとミライの誘導は減っていきました。

アカチャンの頃にしか見られない行動のもうひとつとして「土喰い」があります。グラウンドに初めて出ると土を食べるのです。野生では生まれたその場に土がありますからいつごろから食べるのかわかりませんが、藁の上で生まれ、しばらく藁の上にいると初めて土の上に立つとその行動が見られます。なぜ土を食べるのかはよくわかりません。普通考えるのはミネラルの補給ですが、オトナはしませんし、本当に最初の頃にしか、しかも数回しか見られないのでミネラル補給だけではないと思います。

それと、知ってましたか？アカチャンの最初の頃のおしっこって異常に長くする時があるんですよ。一般的にオスは尿道が長いのでチョロチョロと、メスはダーツという感じなのですがアカチャンの最初の頃はメスでも10分近くしていることがあるのです！10分間おしっこし続けるって想像つかないでしょう？初めて見たときは病気かと思いました。私はこれを「ロングシッコ」と呼んでいます。

このように、生まれてしばらくにはしか見られない行動があります。これが普通なのか異常なのかは1頭見ていただけではわからないことでした。私が3頭もの子を見ることができたのは本当にラッキーなことでした。



土を食べるウリュウ（2013.5撮影）



昼間の巣（？）は夜とは場所が違う
オトワが座るこの位置は北西
（2009.7撮影）



ウリュウの「ロングシッコ」（2013.5撮影）